

伊 議 会 だ よ り

い せ ん

第47号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 尚庵美新社印刷



8月8日(土) 徳之島交流ひろば「ほーらい館 癒ていなホール」において、
 合同金婚式が開催されました。

合同金婚式出席者の9組(写真左から)

<上段> 榊山御夫妻(犬田布) 時任御夫妻(喜念) 伊藤御夫妻(面縄) 西御夫妻(面縄) 富御夫妻(伊仙) 有馬御夫妻(馬根) 牧園御夫妻(伊仙)

<下段> 貞御夫妻(阿権) 教育長 町長 議長 副議長 本田御夫妻(伊仙)

平成27年 第2回伊仙町議会定例会 全議案 (会期6月16日～19日)

議案番号	議 案 件 名	備 考
陳情第1号	「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回決議」の採択を求める陳情書	不採択
陳情第4号	佐弁集落（町営住宅周辺）に関する街灯の設置について	継続審査
陳情第6号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る陳情書採択の要請について	採 択
請願第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	採 択
発議第1号	伊仙町議会会議規則の一部を改正する規則	採 択
承認第3号	徳之島愛ランド広域連合規約の経費の支弁の方法に係る同広域連合規約の一部を改正する専決処分の承認	可 決
承認第4号	伊仙町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	可 決
承認第5号	伊仙町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	可 決
承認第6号	平成26年度伊仙町一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認	可 決
承認第7号	平成26年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	可 決
承認第8号	平成26年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	可 決
承認第9号	平成26年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	可 決
承認第10号	平成26年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認	可 決
承認第11号	平成26年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第6号）の専決処分の承認	可 決
承認第12号	平成26年度伊仙町上水道事業会計補正予算（第3号）の専決処分の承認	可 決
承認第13号	平成27年度伊仙町一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認	可 決
報告第4号	平成26年度伊仙町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	可 決
報告第5号	平成26年度伊仙町一般会計事故繰越繰越計算書の報告	可 決
報告第6号	伊仙町農業振興計画（平成27年度～31年度）の策定の報告	可 決
議案第33号	伊仙町企業誘致促進施設の設置及び管理に関する条例の制定	原案可決
議案第34号	平成27年度伊仙町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第35号	平成27年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第36号	平成27年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第37号	平成27年度伊仙町上水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
(以下余白)		

総務文教厚生常任委員会 / 経済建設常任委員会 所管事務調査報告

調査日：平成 27 年 4 月 17 日 (金) 場所：検福ゲストハウスあむとう
出席者：伊仙町議会（総務文教厚生常任委員会・経済建設常任委員会）14 名
議会事務局 2 名
説明員：NPO いせん 1・1 役員・事務局 3 名
伊仙町長，副町長，教育長，企画課長，企画課担当職員 合計 24 名



ゲストハウス「あむとう」での協議の様子

(調査概要)

今回の各委員会における所管事務調査事項は、平成 25 年度より町の重要施策の一環として実施されている、「平成 25 年度過疎集落等自立活性化事業（総事業費：9,500 千円）」並びに「平成 26 年度過疎地域等自立活性化推進事業（総事業費：10,000 千円）」について現地調査を行いました。

各事業は、移住定住促進の為に町内に点在する空き家を低コストで改修し、移住定住希望者に提供するという趣旨の事業であります。

各委員会における調査の詳細については、下記の通りであります。また、2 委員会は調査結果に基づいて政策提言を行いましたので、事業年度毎に合わせてご報告申し上げます。

ゲストハウスとは…
安価で長期滞在も可能な簡易宿泊施設

- 「平成 25 年度過疎集落等自立活性化事業」
 - ・事業費：9,500 千円（財源内訳：国庫 100%）
 - ・事業詳細：空き家調査委託・改修アドバイザー招聘・改修，運営プラン作成・募集準備・プラン評価・需用費・大工賃金・原材料費
- 「平成 26 年度過疎地域等自立活性化推進事業」
 - ・事業費：10,000 千円（財源内訳：国庫 100%）
 - ・事業詳細：空き家調査委託・空き家清掃美化委託・改修プラン作成・広告費・事務費

(各種事業の主な検証結果と政策提言)

・検証結果

- ①利用率向上にむけての PR，利用者からのアンケートを行うなど，事業目的との整合性を図る為の独自の評価と，毎月 1 回の定例会を開催し，反省点を善処するなど，自助努力がなされていた。（H25 年度事業）
- ②事業実施にあたっては，シルバー人材センターにおいて再利用資材を活用した改修，運営，賃貸契約に至るまで，専門家のサポートを受けて行っていた。（H25 年度・H26 年度事業）
- ③ H25 年度事業における調査対象件数は，駐在員からの協力も得て，106 件あることが判明し，うち 16 件は良質物件であることが調査の結果明らかになった。また，H26 年度においては，小規模校区を中心として調査し，9 件の調査対象件数に対し，約半分しか利活用できない状況であった。（H25 年度・H26 年度事業）
- ④ PR などの自助努力はなされているが，利用率に結びついていない状況であり，オープン当初（H26.11 月）から平成 27 年 3 月末時点で延べ 12 組しか利用されていなかった。（H25 年度事業）

・政策提言

- ①利用率向上に向けて，官民一体となるよう連携を強化し，行政においては，あくまでも自立的発展を促されたい。特に観光連盟や商工会との連携は不可欠である。
- ②低コストで改修できるメリットを活かし，今後同様に事業を推進するとともに，グリーンツーリズム事業等を活用し，利用率向上に向けて努められたい。また，SNS 等も積極的に利用されたい。
- ③世界自然遺産登録に向けて，クレジットカードで精算できるようシステムの構築を検討されたい。

ゲストハウス（あむとう）をご利用にあたっての連絡先：TEL/FAX：0997-86-3131

要望活動

伊仙町議会は先般、県道未整備からなる様々な懸案事項を解決する為、鹿児島県大島支庁徳之島事務所（徳之島町亀津）へ、一部区間の県道拡幅について早期事業採択を求めて要望活動を行いました。

今回要望した区間は、来年度事業終了地点（三島商店周辺）から徳之島町方面に向けての区間であり、特に住民の安全確保や防災の面を考慮して、本町議会で現地調査並びに室内協議を行ったうえで願意を要望書に取りまとめ提出いたしました。

要望区間は、特に早急な対応が求められる東伊仙（字義ノ津（文元板金）エブリワン伊仙店）を含む区間であり、この件について具体的な事例を挙げて県大島支庁徳之島事務所所長他、担当課長と協議を行いました。（※協議内容は、5Pをご覧ください。）



伊仙町議会と県大島支庁徳之島事務所との協議の様子



（左：室屋所長）（右：琉議長）
鹿児島県大島支庁徳之島事務所所長へ要望書提出しました。

要望書

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎 殿
 鹿児島県大島支庁長 本 重人 殿
 鹿児島県大島支庁 徳之島事務所 所長 室屋 恵一 殿
 伊仙町議会 議長 琉 理人

県道未整備地区（字義ノ津）の早期拡幅工事着工に関する要望

貴職におかれましては、県政発展のため諸般の施策推進にご尽力賜り、深く感謝申し上げます。
 さて、標記県道一部未整備地区については、徳之島町より本町を経由し天城町徳之島空港へと通じる主要道路かつ生活基盤道路としての役割を担っているところであります。しかしながら、このような島民においても非常に重要な役割を担う主要幹線道路にありながら歩道が設置されておらず、とりわけ当該地区（字義ノ津）においては、幅員が狭く、同路線を中心に点在する小・中学校に通う児童生徒と車両との接触事故等が頻発する危険性が指摘されます。

さらに、近年は防災の面においても、地域住民から大雨や台風などの災害により、当該地区が冠水し頻繁に通行止めになることから、緊急車両の通行や町民の避難道路の確保の観点からも早急に解決することが望まれております。

このような、懸案事項並びに地域住民からの強い要望を受け、本町議会においても平成27年7月16日に、大久保明伊仙町長及び職員を含めて現地調査を行いました。様々な懸案事項を解決するためには、「同地区の早期拡幅工事着工が強く望まれる」との結論に至りました。
 つきましては、本町議会と致しまして、地権者との協議等可能な限り、事業推進に全面的に協力する事と致しますので、早期拡幅工事着工に向けて何卒よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

平成27年8月7日

我々伊仙町議会は、県道未整備地区（字義ノ津）の早期拡幅工事着工に向けて平成27年8月7日（金）に鹿児島県大島支庁徳之島事務所へ要望活動を行ってまいりました。

出席者（要望団）：伊仙町議会・議会事務局・建設課長・耕地課長・総務課防災担当
 大島支庁徳之島事務所：所長・総務課長・建設課長・農村整備課長・建設課係長

協議内容

要望活動の中で、大島も、事業採択となった場合、支庁徳之島事務所建設課長より、来年度には、三島商店周辺までの県道拡幅が完成する予定であり、それ以降の県道拡幅工事着工（字義ノ津も含めて）に関しては、不透明であるとのことでした。

ただし、県（県道管理者）としても、歩行者を含めて交通の円滑化を図るためにも、本庁へ要望を行っているとのことでした。

「要望活動の中で、大島も、事業採択となった場合に、県と一緒に、三島商店周辺までの県道拡幅が完成する予定であり、それ以降の県道拡幅工事着工（字義ノ津も含めて）に関しては、不透明であるとのことでした。」

「要望活動の中で、大島も、事業採択となった場合に、県と一緒に、三島商店周辺までの県道拡幅が完成する予定であり、それ以降の県道拡幅工事着工（字義ノ津も含めて）に関しては、不透明であるとのことでした。」

「要望活動の中で、大島も、事業採択となった場合に、県と一緒に、三島商店周辺までの県道拡幅が完成する予定であり、それ以降の県道拡幅工事着工（字義ノ津も含めて）に関しては、不透明であるとのことでした。」

「要望活動の中で、大島も、事業採択となった場合に、県と一緒に、三島商店周辺までの県道拡幅が完成する予定であり、それ以降の県道拡幅工事着工（字義ノ津も含めて）に関しては、不透明であるとのことでした。」

昨年も同じように冠水しています。



幅員が狭く、見通しが悪いことから歩行者と車両との接触事故が懸念されている。



義ノ津（文元板金前）
平成27年6月29日（月）



義ノ津（文元板金前）平成26年6月



8月4日（火）町長室にて
要望活動に関する町長部局との事前協議の様子



義ノ津冠水部の下流平成27年7月16日
大久保町長及び職員を含めて現地調査。



美山 保 議員

答

「町長」伊仙町は合併浄化槽を含めた設置率が県下でワースト3に入っている状況であります。

伊仙町の環境問題に関しては遅れている状況であり、今後、この排水路と浄

浄化槽設置に伴う集落排水路の整備について

問

本町における各家庭の浄化槽設置がおくれている原因は、排水路の未整備が考えられる。特に世界自然遺産登録に向けては、候補地の環境問題が大きく影響すると言われている中で、排水を個人の畑などへ流すことは、町の環境浄化の観点から適当ではないと考えられる。これらの問題を改善する為に、浄化槽の普及と並行して、集落排水路の設置についても財政状況を勘案したうえで早急に計画すべきと考えるが、町の今後の対応策について問う。

排水路と浄化槽の問題は各課と連携し、県へ要望

化槽の問題は相関している中で、各課と連携を取りながら、また、国、県との要望を行いながら取り組んでいかなければならないと考えております。

「建設課長」伊仙町においては排水路の整備がかなり遅れており、早急に対応が必要だと感じています。国、県などと相談をしながら、長期的に、またかつ財政難でもありますので、補助率の高い事業を検討して行きたいと思っております。

東伊仙「義ノ津」水没地対策について

問

昨年9月議会に引き続き、東伊仙義ノ津の件について再度質問いたします。同地区は、畑や県道が水没するなど住民並びに通

行者へ大きな影響を及ぼしている。そこで、この問題を解決する為に、関係地権者を含めた県並びに町側との協議が行われているのか問う。また、今後の協議内容については、どのように当該地区住民に説明して行くのか問う。排水路対策協議会を設置して、その中で一日でも早く問題解決をできるように対応して頂きたいが町長の見解を問う。

東伊仙「義ノ津」水没地対策について

地権者との交渉

答

「町長」年に数回、大雨が降るたびに冠水して県道が通行止めになっております。県の方が5月に視察に来られ、地権者との交渉や、現地の木の伐採等を行ったが、抜本的な解決にはなりません。今後、町民の意識と、あの意味ではモラルを正していかなければ、また同じように下流の方で起る可能性がありまますので、その辺も徹底して住民と話し合いをしていくことが問題解決になると思っています。

「耕地課長」この件に関しましては、昨年の9月議会でも質問がありました。その9月議会において、議員の皆さんも現地を視察した経緯がございました。その前段階におきまして、耕地課で、排水路工事の簡単な概略設計をして、予算的なもの、買収する面積などを試算に24年の10月と11月に、町長も交えて地権者などに説明をしたところでございます。

この段階では、いくつかの点で合意が出来なくて、現在に至っております。今後、排水路工事をする事については、県道の計画がまだはっきりしない状況の中で、排水路の改修も難しいかと思われまます。

徳之島事務所建設課長も今年の4月から新しく着任されたこともあって、この問題についても力を入れて行くという話を町の建設

課長にされていますので、その県の徳之島事務所建設課と町との建設課を交えて、引き続き対応していきたいと思っております。

面縄港に貨物船が接岸できる港建設を国、県へ要望

問

面縄港の貨物船受け入れについて、25年前に面縄港に貨物船を接岸させる旨の計画を進めていたが、また、農畜産物の集出荷等を利用することを勘案して、関係機関を通じて貨物船受け入れに関して協議されることが望ましいと考えられる。面縄港を貨物船が接岸可能な港にすることは、町の経済を恒久的に発展させる可能性も秘めていることから、貨物船受け入れに伴う港建設について、国や県と協議する考えはないか問う。

県を交えて引き続き対応する

「耕地課長」この件に関しましては、昨年の9月議会でも質問がありました。その9月議会において、議員の皆さんも現地を視察した経緯がございました。その前段階におきまして、耕地課で、排水路工事の簡単な概略設計をして、予算的なもの、買収する面積などを試算に24年の10月と11月に、町長も交えて地権者などに説明をしたところでございます。

この段階では、いくつかの点で合意が出来なくて、現在に至っております。今後、排水路工事をする事については、県道の計画がまだはっきりしない状況の中で、排水路の改修も難しいかと思われまます。

徳之島事務所建設課長も今年の4月から新しく着任されたこともあって、この問題についても力を入れて行くという話を町の建設

課長にされていますので、その県の徳之島事務所建設課と町との建設課を交えて、引き続き対応していきたいと思っております。

面縄港に貨物船が接岸できる港建設を国、県へ要望

答

「町長」面縄港の計画書は、町長室にもありますし、その同じ計画書は、2年くらい前に九州地方整備局の鹿児島港湾事務所の方にも提出をしております。県内、郡内の商港、そ

面縄港に貨物船が接岸できる港建設を国、県へ要望



面縄港

して定期路線港を見てもみすと、例えば沖永良部は徳之島の約半分の人口であるが、定期航路が、和泊港、伊延港、知名港と3か所もあります。大島本土においては古仁屋港と名瀬港がある状況です。今後バレイシヨの生産量、子牛の輸送など時代の変化の中で、面縄港の開港ということが、今後必要性はますます高まってきたかと思えますので、再度、国、県と交渉していきたいと思えます。

問 7月22日に港湾連絡協会の総会の交流会がありますので、それにも参加して、再度、全体会議の中で、各自自治体の自由意見として発表して行きたいと考えています。



議員 徳久 牧

答 「町長」東日本大震災後、徳之島3町災害対策会議を設置し、随時避難訓練を実施してまいりました。停電時の断水対策に発電機を購入したり、避難場所を決定し台風のたび職員・消防団・集落民等が連携し一人住まいの方々に仙寿の里に避難させるなど災害対策に関しては充実していると思えます。今回台風が西にそれ楽観視していましたが、突然竜巻が起きましたことは現実でありますので台風や大雨のたびに竜巻の発生を予測して警戒することが改めて重要である

問 検福・上面縄地区で発生した竜巻により、住家の倒壊や高圧電柱が切断され、道路に垂れ下がるなど非常に危険な状態であったと思うが、町として俊敏な対応をされたか。また今後も大型台風襲来など自然災害を予測して対策を講じる必要があると思うが町長の見解を問う。

答 「建設課長」土木業者による年1回の道路清掃ボランティア作業や、この他にも各業者が自主的にボランティアで道路清掃を行っている。また町民のクリーン作戦を行っているが、手の届かない集落間の道路など夏場にかけて雑草が生い茂っている箇所については、建設課独自で巡回し著しく生い茂っている箇所は業者等にも依頼して清掃していききたいと思えます。



竜巻被害

と考えています。

問 町道・農道の維持管理徹底
町内の各地域に点在する町道・農道は適切に管理されているのか。また県道は土木業者が定期的に除草をしているが、町道・農道は草が生い茂るなど車の走行に危険箇所も見受けられる。特に通学路など含めて早急な対応が必要とと思うが見解を問う。

答 「建設課長」土木業者による年1回の道路清掃ボランティア作業や、この他にも各業者が自主的にボランティアで道路清掃を行っている。また町民のクリーン作戦を行っているが、手の届かない集落間の道路など夏場にかけて雑草が生い茂っている箇所については、建設課独自で巡回し著しく生い茂っている箇所は業者等にも依頼して清掃していききたいと思えます。

問 日本マルコ(株) 徳之島工場の平成28年4月開設に向けて町当局は土地の整地も完了し順調に進展しているものと思えますが本体工事はいつ頃着工するのか。また残りの土地の造成工事の見通し等、さらに社員として研修も進められていると思うが人員は確保されているのか問う。

答 「企画課長」本件工事入札を実施予定で議会の議決を経て着工となります。完成の目途としては平成28年1月末を目指しております。残りの造成工事は九州電力の主要幹線電柱がある関係上、本年11月頃電柱移転ができるという事で、この電柱移転完了後、2工区の造成工事を始めていきたくと思っております。人員確保については操業時の主要幹部職員候補として採用し、研修を実施していると聞いております。また操業時には現地パートを含めて30名規模で事業を展開し、年次計画で増員、そして最終的には110名程度の雇

**日本マルコ(株)の
来年度開設に向けて**

答 「建設課長」土木業者による年1回の道路清掃ボランティア作業や、この他にも各業者が自主的にボランティアで道路清掃を行っている。また町民のクリーン作戦を行っているが、手の届かない集落間の道路など夏場にかけて雑草が生い茂っている箇所については、建設課独自で巡回し著しく生い茂っている箇所は業者等にも依頼して清掃していききたいと思えます。

用で完全操業に移行する旨聞いております。

400年以上続く徳之島の闘牛文化温存を要望

問 平成27年5月20日付けで徳之島3力町長連名から各団体に対する負担金を平成28年度から一律20%カットする旨の通知が徳之島闘牛連合会にも届きました。

町財政が厳しい事は分りますが、なりふり構わず少額な負担金も同様にカットするのはなく、必要か否かを峻別し執行するのが妥当であると思うが町長の見解を問う。

厳しい財政事情での判断

答 「町長・総務課長」一律2割カットということに関してもしっかりと細かく分析をして、その組織のあり方、状況などもう少し情報を集めてやれば理解をいただけたかもしれません。3町での徳之島ダム負担金の一括償還を断行しなければならぬことを理解していただきたいと思います。また次回からは個々の団体の状況を見ながら判断してまいりたいと思います。



福留 達也 議員

地方創生の取組みについて

問 「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、平成27年度中に地方版総合戦略を策定する努力義務があります。10年後の伊仙町を見据え、絶対に逃してはならない事業を盛り込んだ総合計画を策定しているのか問う。

答 4月に総合戦略推進本部を立ち上げ、推進会議を開催しております。6月からは集落座談会を開催し、地方創生に関する説明を行い、住民の方々と意見交換を行い、役場各課でも議論を行い策定に取り組んでおります。具体的にはふるさと留学制度、企業誘致、観光資源掘り起こし事業、

策定に向け取り組んでいる

答 「企画課長」平成27年4月に総合戦略推進本部を立ち上げ、推進会議を開催しております。6月からは集落座談会を開催し、地方創生に関する説明を行い、住民の方々と意見交換を行い、役場各課でも議論を行い策定に取り組んでおります。具体的にはふるさと留学制度、企業誘致、

経済課の人材育成、研修施設等の整備計画事業等に取組んでおります。

問 徳之島3町が共同で総合戦略を策定し取組むことにより、より大きな成果が期待できる事業があると思いますが、実施予定はないのか問う。

答 「町長」徳之島3町がそれぞれ町の総合戦略を作った中で共通課題を抜粋し、一つの総合戦略を作っていくという形の可能性はあります。現状は自治体が別々である以上、一部は可能かもしれませんが、すべての政策となると非常に難しいのではないかと考えております。今後も合併することが徳之島全体の発展に繋がると確信しております。

答

それぞれ町の総合戦略を作った中で共通課題を抜粋し、一つの総合戦略を作っていくという形の可能性はあります。現状は自治体が別々である以上、一部は可能かもしれませんが、すべての政策となると非常に難しいのではないかと考えております。今後も合併することが徳之島全体の発展に繋がると確信しております。

「企画課長」現在3町で取り組んでいる産科医の確保、景観条例の策定、世界自然遺産登録の推進、ごみの不法投棄対策等、合同で行うことが効果的な事項に関しては、意見交換の場を設けて総合戦略に盛り込んでいきたいと考えています。

で総合戦略に盛り込んでいきたいと考えています。

問 国全体の人口が減少していくと言われている中、伊仙町の策定する人口ビジョンにおいて、町としては地域の特性にあったどのような政策を考えているか。

答 「企画課長」現在、企業誘致を核として、帰ってきたいまちづくりでビジョンを策定していきたいと思っております。その中においては6次産業化で農業従事者の人材育成を図り、製品を作り販売する。その各分野で雇用の場が確保できればと考えています。

答

伊仙町として「人づくり」をどのように行っていくのか、自分の可能性を最大限発揮できるように学齢期からの教育について、何かしらの手立てを考えているのか問う。

問

伊仙町として「人づくり」をどのように行っていくのか、自分の可能性を最大限発揮できるように学齢期からの教育について、何かしらの手立てを考えているのか問う。

答

「町長」町民が意識改革をすること、魅力ある土地で魅力ある人がたくさんいる。そういうまちづくり・人づくりが最重要課題と考えています。

「企画課長」児童生徒の学力向上は最も重要です。集落の活動を活発にすることも人材育成の基本的なものとなっております。各小学校単位で小さな拠点づくりを考えていかなければならないと考えています。

問

「地方創生会議」が今後急増する東京圏の高齢者を、医療・介護の施設や、人材に余裕のある地域への移住促進を政府に要請したところ、自治体が反発したと新聞に掲載されました。老後は故郷で暮らしたいと思う出身者を受け入れることにより、人口減少に歯止めが効き、雇用の場の確保にも繋がると思いますが、この様な要請があった場合の町長の見解を問う。

答

「町長」伊仙町の人口があまり減らない。高齢者の方々が元気で長寿である。厚労省が認定した健康増進施設「ほーらい館」がある。農業高校跡地の活用などを考えてみた場合、伊仙町が地方創生のモデルになりうるし、国のほうも伊仙町に対する大きな期待があると思います。我々自

らが総合戦略の中で伊仙版 C C R C (元気なうちから要介護に至るまで継続的にケアする新しい取組み)を申請していくことが大変重要なことであります。雇用・人口増にも直結しますし、総合戦略の中でも強力に発信、アピールしていきたいと思っております。

郡島内における移動手段の強化策について

問

航空・航路運賃の低減化、並びにバニラエアの就航などにより徳之島へも経済効果が波及しているのか、奄美群島間における航空路の新設・増便、島伝いに高速船の導入等を実現させる目的はないのかを問う。

各島々へのアクセスに高速船導入は積極的な提案

答

「町長」バニラエアの就航等による大島本島への経済効果は顕著であり



高速船トッピー

写真提供者：種子屋久高速船 株式会社

ますが、徳之島への波及効果はそれほど感じることができません。奄美―成田間の路線は、奄振予算で助成されている関係上、奄美群島全体への波及効果も考慮しなければならぬわけであり、各島々へのアクセスを改善し、地域住民のみならず、世界自然遺産登録により、ますます増加すると思われる入り込み客の移動手段としても、島伝いの高速船導入は、大変積極的な提案だと考えております。



明石 秀雄 議員

住宅管理と住宅不足解消について

問

住宅管理と住宅不足解消について、現在の住宅戸数、また空き家戸数について問う。

答

「建設課長」平成27年度は、305戸、入居戸数については279戸。また政策空き家については17戸。入居準備中については9戸です。待機者数については77人です。

問

今後、企業誘致等が進み、人口が増えれば今の伊仙町の財政状況で対応できるのかを問う。

伊仙町公営住宅長寿命化計画により見直していきたい

答

「建設課長」現状では、厳しく対応できない状態であり、伊仙町公営住宅長寿命化計画によって計画書を見直していきたいと思っております。

問

本町で住宅不足の解消ができないのであれば、1ター・Uターまたは、企業誘致等を行えば人口は増えると思うが県営住宅の誘致等はないか問う。

答

「町長」離島振興協議会、議会の要望書や、県町村会総会にも載せてあります。また県議会議員が質問をすることになっていて、ので全力で取り組みたいと思っております。

財政管理について

問

事業等の導入による土地購入があるが、登記等がなされ適正に管理しているのか。また喜念地区で事業導入のため、町有地と民有地が交換の経緯があるが、その後どうなっているのかを問う。

答

「総務課長」整備を進めている公有施設等総合管理計画の中で、再

度この管理台帳もしっかり精査し直し、財産の使用に関する許可等も再度洗い直して、一新してまいりたいと思っております。

問

町有財産で町民に貸し付けてある土地があると思うが、契約更新等がなされているのかを問う。

答

「総務課長」町有財産の切り込みや、あるいは勝手に使用しているなどの状況はありますが、契約更新等に関しては、年限で貸付けに關しての更新作業は実施しております。



河地住宅

あなたの声が
地域を変える

町民の声

私たち白組（西伊仙東集落）青年団は、古くから西伊仙東集落に伝わる地域芸能「棒踊り」を先輩方より継承し、今後集落の皆様と共に棒踊り保存会として後輩や子ども達に伝えていきたいと考え活動していきます。
そこで今回は、白組の棒踊りに参加された皆さんにインタビューを行いました。



今回のインタビュー者：平 博人 議員

声

伊仙町に暮らして感じること

ほーらい館やAコープ等ができて、以前より町が明るくなってきたと思います。しかし、もう少し子ども達の遊ぶ場所や、大人達が気軽にスポーツや交流（フットサル・BMX等）ができる施設もつくってほしいです。

BMX=自転車競技

声

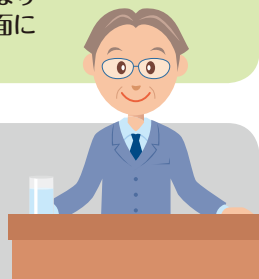
今後の伊仙町に期待すること

子育て世代として、水道問題や通学路のインフラ整備に力を入れて欲しいと思います。特に水道問題は、子育てしていく中では非常に深刻な問題で、お風呂や洗濯など大変苦労しています。早急に対応してほしいです。

声

伊仙町議会に対する要望など

議会だよりもカラーになって大変読みやすくなり、写真も沢山掲載されていて以前より親しみやすくなりました。しかし、まだどこか硬く感じられます。もう少し内容を簡易化し、家族みんなで読めるような誌面にしてほしいです。また今後、議会傍聴にもぜひ行ってみたいと思います。



どうなった？ あの一般質問の行方は…

平成26年に行われた定例会で通告された一般質問を追跡調査し、随時掲載して参ります。

前回（6月号）に引き続き今回は、財政分野に関する課（総務課）、租税に関する課（税務課、保健福祉課等）について掲載して参ります。（一部を掲載しています。その他の調査結果は、町ホームページ→暮らし情報→議会事務局の中に掲載しております。）

●（第4回定例会 美山議員の一般質問）

近年、各集落に身障者や足腰の弱い高齢者が多く見受けられます。そのなかで、一人暮らしをされている高齢者の方々は、身寄りがないことが原因で、「孤独死」されている事例もあります。そこで、各集落に民生委員を含めたボランティアグループを組織し、見守り業務を委託することや、庁舎内に見守り相談室を設置して、常に対応できる体制づくりはできないか問う。

（回答：保健福祉課長）

孤独死の要因はいろいろある中で、事前に防止、対応することは不可能です。しかし問題は、孤独死が発生した場合、いかに早くその異変に気付くかが重要だと考えます。また要支援者は230名ほどシステムでリストアップし、民生委員等への呼びかけや、特に災害時の例で、昨年は東面縄で青年団の協力で支援体制に繋げました。

（その後（現状…））

現在は、要支援者のリストを年に2回見直し、作成資料を駐在員や民生委員等に配るなどの対応を行っています。しかし、包括支援センターにおいて新たな政策・施策の導入（日常生活総合支援事業、認知症施策、特にCCRC実現）に向け包括支援センターの本来あるべき姿に持っていくためには、支援体制が急務である。

※CCRCとは：高齢者が自立して生活できるうちに入居して、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。

●（第1回定例会 美山議員の一般質問）

伊仙町地域防災計画は、平成7年度改正されていますが、その後改正がなされていないが本年中に速やかに改正できないか。
（その後）

H26年度の伊仙町防災会議にて改訂・承認頂き、現在印刷が完了し、9月議会までには配布予定。

今回は、環境衛生に関する課（水道課・環境課など）、建設に関する課について調査を行い掲載して参りたいと思います。

徳之島3カ町議会議員連絡協議会における奉仕作業

7月5日(日)に開催された「第28回トライアスロン in 徳之島大会」を前に、6月27日(土)天城町B & G 海洋センターにおいて、徳之島3カ町議会議員連絡協議会活動の一環として始まった「3カ町合同ボランティア作業」が引き続き行われました。このように3カ町一体となり継続して活動をしてまいりたいと思いません。



議会の動き

3月

- 23日 平成26年度伊仙町健康づくり・母子保健推進協議会
平成26年度健康長寿いせん21推進協議会 (ほーらい館)
- 24日 町立各小学校卒業式 (町内小学校)
- 26日 平成26年度伊仙町脳卒中対策検討会 (ほーらい館)
- 31日 伊仙町職員退任式 (中央公民館)

4月

- 2日 徳之島3カ町議会議員連絡協議会奉仕活動 (犬田布岬)
- 6日 町立各小・中学校入学式 (町内小・中学校)
- 7日 犬田布岬観光公園完成セレモニー
戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦士慰霊祭 (犬田布岬)
- 9日 議会議長・事務局長合同会 (奄美市)
教職員歓迎会副議長代理出席 (ほーらい館)
- 17日 平成27年第3回全員協議会
常任委員会所管事務調査 (ゲストハウスあむとぅ)
- 21日 徳之島地区防犯組合連絡協議会会計監査 (徳之島警察署)
- 23日 第28回記念2015トライアスロンIN徳之島大会総会
(実行委員会全体会) (天城町役場)
- 24日 伊仙町まち・ひと・しごと創生総合推進会議 (中央公民館)
- 25日 「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」に関する説明会 (奄美市)
- 27日 徳之島三町長・議長合同での県知事・各部署表敬訪問
(県庁知事室)
- 28日 県政説明会 (県庁)
県庁奄美会員との合同懇親会 (城山観光ホテル)
- 29日 瀬田海浜公園海開き (瀬田海浜公園)

5月

- 1日 議会運営委員会 (議会委員会室)
- 12日 台風6号襲来による被害現場調査並びに視察 (町内)
- 13日 鹿児島県離島振興町村議会議長会臨時総会
(ホテルウェルビューかごしま)
- 14日 議会議員研修会 (ホテルウェルビューかごしま)
- 14日 徳之島町議会との水質調査に関する合同研修会
(鹿児島大学水産学部)
- 18日 平成27年度徳之島3カ町議会議員連絡協議会役員会
(議会委員会室)
- 19日 議会広報編集委員会 (議会委員会室)
- 19日 平成27年度伊仙町商工会通常総会 (NOSA Iホール)
- 20日 伊仙町議会沖永良部島視察 (和泊町・知名町)
- 21日 第58回奄美群島市町村議会議員大会・議員研修会 (和泊町)
- 22日 奄美群島市町村議会合同視察 (和泊町)
- 25日 議会広報編集委員会 (議会委員会室)
- 28日 徳之島地区防犯組合連絡協議会総会 (ほーらい館)

6月

- 4日 国民文化祭実行委員会総会 (中央公民館)
- 6日 離島医療・救急フォーラム (ほーらい館)
- 9日 平成27年第2回伊仙町議会定例会告示
- 10日 奄美群島地域産業振興基金協会評議員会
奄美群島広域事務組合臨時議会
奄美群島航路対策協議会
奄美群島大島船振興対策協議会 (奄美会館大会議室)
- 11日 総務文教厚生常任委員会による閉会中の継続審査
議会運営委員会 (議会委員会室)
- 16日 平成27年第2回伊仙町議会定例会開会

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集後記

町民の皆様、残暑お見舞い申し上げます。6月定例会は6月16日～19日までの4日間に渡って行われました。

今回の定例会の主な審議事項は、26年度予算の専決処分並びに27年度補正予算関係であります。

早いもので昨年3月の編集後記を担当してから1年半になります。

改選後の新たな広報委員5名と、事務局職員で、町民の皆様方に読みやすい紙面づくりを心がけて広報委員一同工夫を凝らして参りました。具体的には、我々議員が一般質問等で取り上げた事項がその後どうなっているのかを追跡調査して検証を行う「どうなった?あの一般質問」や町民の皆様の様々な意見、要望、想い等をインタビュー形式で行った「町民の声」の掲載などです。

最近、「議会だより」をご覧になられた方から、「議会の開催されている時の本会議の様子はインターネット中継により解るのだが、その前にどのようなやり取りがあつて議決に至つたのかをもう少し詳しく知りたい。」このような要望がありました。早速広報委員会において検討し、次回からの「議会だより」においては、議決事項の結論のみならず、前段階における主要なやり取りも掲載していくこととなりました。

我々議会の中にいる者にはなかなか気付かない貴重な要望でありました。今後ともこのような意見、要望、叱咤激励を下されますことをお願い申し上げます。

(文責 福留 達也)

議会広報編集委員会

- 委員長 牧 徳久
- 副委員長 福留 達也
- 委員 美山 保
- 委員 平 博
- 委員 永岡 良一